

## 【聖書箇所 요약】

ガリラヤ湖上を歩いて来られたイエス様を、弟子たちは幽霊だと思って恐れました。ペテロはイエス様に願い、水の上を歩きましたが、風を見て恐れ、溺れかけました。イエス様は彼を助け出されました。

## 1. キリストの到来を恐れに感じる

### A. 水の上を歩くイエス様

「イエスは夜明けの四時ごろ、海の上を歩いて彼らの方へ行かれた。」 (25節)

### B. 恐れの中でイエス様に出会う

- (1) イエス様を幽霊だと思った弟子たち
- (2) 恐れは人の識別力を妨げる

### C. 確かな存在

- (1) エゴー・エイミー (ἐγώ εἰμι)  
「しっかりするのだ、わたしである。恐れることはない」 (27節)
- (2) 恐れの中にある神の祝福

## 2. キリストを信頼する

### A. ペテロの願い

- (1) 実は大変危険な願いであった可能性
  - ・ ( ) と同じになろうとするから
  - ・ エデンの園でのあやまち
- (2) わたしに命じて
  - ・ 自分が信じるのではなく、御言葉をいただいて命ぜられる
- (3) 神の御言葉の法則化の危険性
  - ・ 信仰とはライブイベント

### B. 信じた先に失敗がある

- (1) ペテロの成功と失敗
  - ・ 「おいでなさい」の言葉を信じて水の上を歩いた
  - ・ 風を見て恐れ、沈んでしまった
- (2) 持っていたはずの力さえ失われる  
「風を見て恐ろしくなり、そしておぼれかけた」 (30節)



### C. 真の信頼へ導かれる

「主よ、お助けください」 (30節)

### 3. キリストにゆるされる

#### A. 救い主イエス

「イエスはすぐに手を伸ばし、彼をつかまえて」 (31節)

- 信仰を失って恐れに満たされて失敗してしまうペテロを、イエス様は見捨てることなく、手を伸ばして助けて下さいました。私たちが神様をつかまえるのではなく、神様の方から、信じ切れずに沈み込んでしまう私たちをつかまえて下さるのです。これがわかると信仰が安定してきます。

#### B. キリストの励まし

(1) イエス様はペテロを叱ったのだろうか？

「信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか」 (31節)

(2) 自分を責める者には責めの言葉と聞こえる

(3) キリストのゆるしを受け取る



キリストにつかんでいただくこと。神が信じさせて下さるのを静かに待つこと。ゆるされている自分を知ること。これが信仰の勤所です。



2018  
12/19

説教  
丸山 芳浩 師

### — 祈禱会説教 —

イエスに出会った人々シリーズ (その24)

## 水の上を歩くペテロ

- 28 するとペテロが答えて言った、「主よ、あなたでしたか。では、わたしに命じて、水の上を渡ってみもとに行かせてください」。
- 29 イエスは、「おいでなさい」と言われたので、ペテロは舟からおり、水の上を歩いてイエスのところへ行った。

(マタイによる福音書 第14章28節～29節)

- 4 へびは女に言った、「あなたがたは決して死ぬことはないでしょう」。
- 5 それを食べると、あなたがたの目が開け、神のように善悪を知る者となることを、神は知っておられるのです」。

(創世記 第3章4節～5節)